

自然学習講座

テーマ：早春の水元公園で野鳥を観察しよう

日時：令和5年2月19日(日) 10時から12時まで

講師：水元かわせみの里^{せんもんいん}専門員

参加費：無料 定員：30人

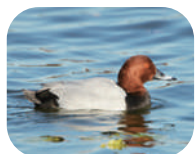
申込開始：令和5年1月17日(火)

集合：水元かわせみの里 水辺のふれあいルーム

受付：令和5年1月19日(木)まで電話で受付し、応募者より抽選。

※ 小学3年生以下の方は、保護者の方と一緒にご参加ください。

※ 野外での観察もありますので、動きやすく、濡れてもよい服装と運動靴でお越しください。



ホシハジロ

早春の水元公園で野鳥たちの観察を楽しみながら、その生態について案内します。

イベント・ガイドウォーク

フォトコンテスト作品募集

募集期間
令和4年12月10日(土)～
令和5年1月9日(月・祝)

葛飾区内で撮影された生きものの写真を募集します。応募方法は、水元かわせみの里などで配布される募集要項をご覧ください。



ガイドウォーク

1回目 11時から30分間
2回目 13時30分から30分間

専門員が水元かわせみの里周辺を解説しながらご案内します。ボランティア活動日には、ボランティアさんが野草園を案内します。



水元かわせみの里とは (水元小合溜水質浄化センター)

水元小合溜の水辺環境を、豊かな生きものが生息していた昭和30年代前半の頃のように戻すために作られた、水質を浄化する施設です。施設内にある水辺のふれあいルームでは、専門員による解説や講座、様々な展示やイベントなどを通して、周辺の自然や歴史、水質浄化の取り組みなどについて楽しく学ぶことができます。



■ 開館時間・・・9時から17時30分(4月から10月)、9時から16時30分(11月から3月)

■ 休館日・・・月曜(祝日の場合は、その直後の平日)

■ お問い合わせ・・・水元かわせみの里 03(3627)5201 東京都葛飾区水元公園8番3号

■ 交通 京成バス

水元公園循環バス(3月から11月の土日祝のみ)

金町駅南口←→戸ヶ崎操車場・八潮駅南口

金町駅南口→水元公園→金町駅南口

(金61系統)

水元かわせみの里下車 徒歩1分

水元五丁目 または 大場川下車 徒歩5分

※ お車でお越しの際は、水元公園有料駐車場をご利用ください。



葛飾区公式HP



ブログ



Facebook



Twitter

水元かわせみの里

水辺のふれあいルーム通信

令和4年 12月20日
(通算第189号)



水元小合溜の生きもの：179

タヒバリ

スズメ目 セキレイ科

全長 約16cm

時期 10月～4月



かく しょうす なか ま
隠れ上手なセキレイの仲間

タヒバリは草地を好むセキレイの仲間です。水元公園では冬に中央広場でよく見られます。褐色の体は冬の草地によく紛れるため、見つけるのは少し大変です。



▲枯れ草に紛れるタヒバリ

群れで暮らし、群れで飛び立つ

タヒバリは群れで暮らす性質があるため、1羽見つけたとき、周囲をよく観察すると他に複数羽がいることも多いです。

草地に紛れていたタヒバリが集団で飛び立ち、初めて居たことに気がつくこともよくあります。



▲一斉に飛び立つタヒバリ

発見!お散歩隊がゆく

日々変わりゆく小合溜の自然を、お散歩隊が見つけて紹介します!



12/9 **ワカケホンセイインコ** 飼育個体が野生化した外来種。水元大橋の近くでクスノキの実を食べていた。



12/9 **カンムリカイツブリ** 記念広場以南の水元小合溜で見られた。水に潜り、魚を追いかけていた。



12/6 **ゴイスギ** 水元かわせみの里のピラカンサの茂みの中で休んでいた。夜になると動き出し、魚を狙う。



12/4 **イソシギ** 干潮時に出現する大場川の干潟で採食をしていた。干潟には足跡が確認できた。



12/13 **マンリョウの実** 野草園で実をつけていた。1月~2月になると、実を食べに鳥が集まる。



12/4 **トウネズミモチ** 水元かわせみの里の周辺で多数見られる。1~2月頃になると、実を食べに鳥が集まる。



12/3 **ツワブキ** 水元かわせみの里の野草園で咲いていた。黄色い花にはアブなどの小昆虫が採蜜に訪れる。



12/2 **マグソコガネ** タヌキのため糞の中に潜り込んでいた。冬でも姿を見ることができる糞虫。



12/11 **しめ飾り** 水元かわせみの里で収穫したイネの藁で作成した。正月飾りとして、施設入口にも飾っている。

専門員コラム 「イネが育む生きものの暮らしと文化」

水元かわせみの里では、キッズボランティアと共に、生きもののすみかとして作った「田んぼビオトープ」のイネを、9月に収穫、11月には脱穀~精米までを行い、炊飯して食べました。5月から田植えを行い育てた白米の味に、キッズたちは皆嬉しそうにしていました。

イネは昔からこのように、主に食糧として人々の食生活を支えてきました。そしてイネの葉や茎、つまり稲わらの部分も、笠やぞうり、藁ぶき屋根など、人々の暮らしを守る道具としても利用されてきました。イネは水辺を利用する生きものたちだけでなく、かつての人々の生活においても、なくてはならない大事な資源だったのです。

またそれだけでなく、稲わらは神様をお迎えし、無病息災や作物豊作を祈るための、神社や正月の飾りとしても用いられていました。日本人の暮らしを支えるイネへの感謝の気持ちが、日本の文化を育ててきたと言えます。それに倣って、水元かわせみの里でも、来年の田んぼビオトープの無事を祈願するべく、残った稲わらでしめ飾りを作りました(9)。私たち人も含めた生物多様性を支える田んぼビオトープが、来年も豊かでありますように。皆さまも、今後の田んぼビオトープの行く末を、どうか見守ってくださいますね。(小林)



2 ● 写真を撮った場所を地図上に示してありますが、他の場所でも見られます。皆さんもぜひ見つけてみましょう。

ボランティア活動報告

水元公園ふれあいフェスティバルに出展しました！

11月3日（木・祝）に、水元公園中央広場で開催されたイベントに出展しました。ボランティアやキッズボランティアメンバーの協力の下、水元公園で見られる生きものの展示や、自然物を用いたゲームコーナーを用意し、ブースを訪れた2000人以上の来場者を案内しました。



キッズボランティアが水元公園の生きものについて紹介しました。



イロハモミジの実を落として的当てゲーム。くるくる回る実を上手く落とせるかな？



ボランティアの皆さんの補助の下、ドングリゴマを作れるコーナーも。



作ったドングリゴマでさっそく勝負！どっちが長く回るかな？

ボランティア募集

水元かわせみの里ボランティアは、活動を通して、ボランティアの方々が地域への愛着を育み、ひいては地域の発展へ貢献することを目標とします。地域の自然保護活動や、来館者へのクラフト教室など、やりがいをもって参加いただける活動がたくさんありますので、気軽にご参加いただきたいと思います。

- 活動内容 水元かわせみの里周辺の美化活動や、水辺のふれあいルームの管理等補助作業
ガイドウォーク等の補助作業、ボランティア研修会の受講
葛飾区子どもまつり、環境・緑化フェアなどへの参加
- 募集期間 随時募集しています
- 対象 18歳以上の方(原則)
- 活動日 月4回程度(定例活動日 第1、3土曜日、第2、4木曜日)
- 申し込み・お問い合わせ 水元かわせみの里 03(3627)5201

学校等団体利用のご案内

水元かわせみの里には、水元小合溜の歴史や自然の解説を行う専門員がいます。総合的な学習の時間、理科、社会科、生活科などの学習にぜひご利用ください。

総合的な学習の時間



植物の葉っぱと種の観察

水元小合溜周辺の身近な生きものや、環境、歴史について楽しく学びます。水質浄化センターの見学なども可能です。

職場体験受け入れ



中学生職場体験

施設周辺の美化活動、施設内の管理作業、生物の調査、ガイドウォークの補助など、様々な体験が可能です。

自由研究の補助



虫とのキットを作る

水辺の生きもの調査、図鑑作りなど、様々な内容の自由研究のイベントを行い、夏休みの児童への、学習のサポートをします。

その他、主な団体利用の内容

- ・生物関係のクラブ活動の補助
- ・大学、専門学校の実習の受け入れ
- ・福祉系団体への自然解説
- ・歩こう会など、各種団体への自然解説

※バスでの来館のご希望や、ガイドの時間・内容などの詳細については、ご相談ください。
※団体利用に関するお問い合わせは、水元かわせみの里窓口、または電話(水元かわせみの里 03-3627-5201)まで。

野草園だより 見頃の生きもの12月編

水元かわせみの里の裏手にある小さなビオトープ「野草園」。様々な生きものが暮らすこのビオトープで見られる、ステキな生きものをご紹介します。

12月の見頃

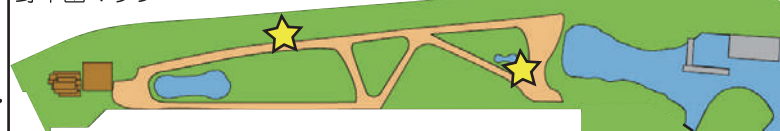
キンミズヒキ

「ひつつき虫」と呼ばれ、布などに付着する実をつける植物の一つで、かぎつめ状の棘が繊維や毛に引っ掛かることで人などの動物にくっつきます。ひつつき虫の多くは、こうした棘や毛が引っ掛かる構造になっていますが、本種は実も棘も大きいので、その点の観察がしやすい植物です。



実

野草園マップ



見られるポイントはココ！